

別記様式第2号

会議の概要報告

会議の名称	佐野市行政改革懇談会
1 開催日時	令和4年8月24日(水) 14時00分～15時15分
2 開催場所	佐野市役所 大会議室AB(6階)
3 委員等の人数	16人
4 出席委員等の人数	12人
5 議題	(1) 第4次佐野市行政改革大綱実施計画の令和3年度取組実績及び総括について (2) 第4次佐野市行政改革大綱実施計画の令和3年度財政効果及び総括について (3) 第5次佐野市行政改革大綱について
6 会議の公開・非公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 一部公開・非公開の理由
7 傍聴者の数	0人
8 会議資料の名称	○議事資料 ・(資料No.1) 第4次佐野市行政改革大綱 ・(資料No.2) 第4次佐野市行政改革大綱実施計画の令和3年度取組実績 ・(資料No.3) 第4次佐野市行政改革大綱実施計画の進捗状況 ・(資料No.4) 第4次佐野市行政改革大綱実施計画の財政効果 ・(資料No.5) 第5次佐野市行政改革大綱 ○参考資料 (1) 佐野市行政改革懇談会委員名簿 (2) 佐野市行政改革懇談会設置要綱 (3) 佐野市附属機関等の会議の公開に関する指針
9 会議の概要 (発言の要旨)	1. 市長あいさつ 2. 会長あいさつ 3. 議事 議題(1) 第4次佐野市行政改革大綱実施計画の令和3年度取組実績及び総括について

・事務局より議題について説明

<質疑等>

委員：「国民健康保険の健全運営」について、受診率を上げるためにはどんな努力が必要か。また、医療費が伸びていて、今後もますます伸びると思うが、大丈夫なのか。

事務局：受診率向上については、いわゆる「ナッジ」と呼ばれる手法を活用した受信勧奨を進めています。加えて、地道にPR等を進めていくことも必要であると考えております。

また、医療費の伸び率はどうしても上がってってしまうものであり、いかに伸び率を抑えるかというところが重要になってくると思います。そのため受診率を上げることで、より健康な方を増やしていくといった取組が必要だと考えております。

委員：「職員への研修の実施と受講啓発活動の支援」について、女性職員に対しても活躍推進に向けた研修を充実させていくという項目があるが、研修を受けている職員の男女の割合は分かるか。また、台風やコロナ禍で職員の労働環境は厳しくなっていると思うが、職員のメンタルヘルスについては大丈夫なのか。今後どのように対処していくのか。

事務局：研修を受ける職員の男女比率については現在把握していません。ただし、男女を問わず、勤続年数に基づく研修及び自己啓発による研修の受講を勧めております。

また、職員のメンタルヘルス対策については、現在、人事課においてストレス診断を実施しており、その診断結果に基づき、高ストレス状態の職員にはカウンセリングを受講するように勧奨しております。

委員：市民課の窓口業務が外部委託されたが、そ

の状況と、今後さらに継続していくためにどのようなことを考えているか。

事務局：令和3年6月から委託が始まりましたが、委託の前後で約1か月間アンケートを実施しました。その結果、「対応が良い」と回答した方の割合は、68%から88%に上がっています。また、「対応が悪い」と回答した方の割合も1%から0%になっており、概ね市民サービスに対して良好な影響を与えていると考えております。引き続き市民課の委託を行うとともに、他の窓口の委託等も検討を進めていきたいと思っております。

委員：全般的な質問になるが、どうしても改革と言うと、何か削減をするとか、痛みを伴って我慢をするとか、負担感のあるように感じられるが、市が円滑に行政を回していく上で、収入を増やすとか、使えるものを増やしていくということも方法として考えられるのかと思っている。例えば市ではネーミングライツの事業なども最近始めたようだが、そういう前向きな検討が他にされていれば教えてほしい。

事務局：第4次行政改革大綱の基本方針の1つとして「持続可能な財政運営の推進」がございます。この中で、例えば「市有財産の有効活用」では、公的・公共的に使わなくなった土地や建物などの行政財産を売却することで収入を得たり、また、「ふるさと納税の推進」において、寄付を多く募ることで歳入を上げております。委員おっしゃるとおり、歳入を上げる取り組みというのは非常に重要であり、強く意識して進めてまいりたいと思っております。

委員：資料とは直接関係ないが、医療機関において薬を処方されると、自己負担部分を除いた費用額は、医療保険から支払われていて、大きな金額となっている。健診なども大事だと思うが、処方された薬を無駄にしない

よう、広報等で啓蒙したら良いと思う。

事務局：所管課に、そういったご提案があったことをお伝えします。なお、現在、医薬品にかかる費用を軽減させるために、ジェネリック医薬品への切り替えも勧奨しております。

委員：「ふるさと納税制度の促進」について、前年度と比較して相当増えているが、要因は。

事務局：要因は2点あると考えており、まず1点目が「返礼品の充実」です。返礼品を市の魅力発信ツールとして位置づけ、市内事業者の協力体制の構築に努め、返礼品の充実を図りました。

2点目が、「プロモーションの強化」でして、ポータルサイトを増やして拡充したことも要因であると感じております。特に、新たに返礼品に登録したティッシュが好評で、令和3年度は申込数が4万2189件で、寄付額の約8割を占めております。

委員：例えば「自主防災組織の育成」のように、町会と協働していく活動が色々あると思うが、現在、町会の加入割合が減少している。今後、市と町会はどのような関係性で協働していくのか。地域の活動を進めていく上で町会を重視するのであれば、市としても町会の加入割合がもっと増やすために力を入れてほしい。町会のような地縁組織はこれからも重視されていく方向なのか、市の方向性を伺いたい。

事務局：町会自体は任意の団体ということに分類されますので、行政側から加入促進を行っていくことは制度的に馴染まないと考えております。しかし、行政として、町会も含め、市民と協働して事業を進めていくということは非常に重要なことであると考えており、町会は存続していただきたいし、より多くの方に町会に加入していただくと良いと考えております。

	<p>したがって、基本的に加入促進そのものは各町会に行っていただくこととなりますが、本市としては、町会長連合会と協力・連携して加入促進の内容を検討していくということは、役割として出来ると考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他の質疑応答無し <p>議題（２）第４次佐野市行政改革大綱実施計画の令和３年度財政効果及び総括について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より議題について説明 <p><質疑等> なし</p> <p>議題（３）第５次佐野市行政改革大綱について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より議題について説明 <p><質疑等> 委員：行政書士会佐野支部では、市民生活課からの依頼により、毎月、相続の相談会等に参画させていただいている。このように、各種団体と協力し、市の対応を充実させ、更に市民サービスを向上していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他の質疑応答無し
10 その他	